

JACLaP WIRE No.64 (2003年11月10日発行)

\*\*\*\*\*

本メールは日本臨床検査専門医会の電子メール新聞 JACLaP WIRE No.64 です。

\*\*\*\*\*

===== 目次 =====

【お知らせ】

【1】(2003年10月31日現在数 653名, 専門医 468名)

【2】平成16年度第1回日本臨床検査日本臨床検査専門医会常任・全国幹事会予定

【最新トピックス】

【1】デング熱とデング出血熱

【2】地球温暖化と異常現象

【MTJ (The Medical & Test Journal) 10月1日号から】

【MTJ (The Medical & Test Journal) 10月11日号から】

【MTJ (The Medical & Test Journal) 10月21日号から】

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-1】

会員動向(2003年10月31日現在数 653名, 専門医 468名)

新入会員

なし

所属変更

佐藤仁哉 旧: 防衛医科大学校検査部  
新: 陸上自衛隊中部方面衛生隊準備隊  
旧: grd1304@gr.ndmc.ac.jp  
新: kimiya@mpd.biglobe.ne.jp

社名変更

旧: 東芝ラボメデイカル  
新: 東芝メデイカルシステムズ

高木 康: 旧 昭和大学医学部臨床病理  
新 昭和大学医学部医学教育推進室 教授

野崎 士郎: 旧 香川医大検査部(旧; nanami@kms.ac.jp)  
新 愛媛労災病院 健康診断部/勤労者予防医療部 部長

退会会員

春木 宏介: 杏林大学感染症学 新防衛医大衛生学  
亀井 康行: 文京区本郷保健サービスセンター

===== JACLaP WIRE =====

【お知らせ-2】

平成 16 年度 第 1 回 日本臨床検査日本臨床検査専門医会 常任・全国幹事会予定

日時：平成 16 年 1 月 9 日（金）午後 3 時

場所：日本臨床検査医学会事務所

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-1】デング熱とデング出血熱

デング熱とデング出血熱は蚊(ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ)が媒介するフラビウイルスが原因で、東南アジア、ラテンアメリカとカリブ海諸国、西太平洋地域、アフリカ、中近東、地中海東部などで発生している。世界人口の 5 分の 2、世界 100 か国以上に流行し、25 億人が感染の危険にさらされている。5000 万人が毎年発生、50 万人が入院し、1~5%は死亡する。多くの国で小児死亡の主要な原因となっている。デング熱とデング出血熱を予防するためのワクチンは開発途中で、まだ完成されていない。

デング出血熱は顔面の紅潮を伴う突然の発熱で始まり、発熱は通常 40~41 で 2~7 日間持続し、熱性けいれんおよび出血が見られる。重症例では数日の発熱後、突然熱が下がり、循環不全でショック状態になり 12~24 時間以内に死亡するか、適切な輸液療法が効を奏すれば回復する。デング熱とデング出血熱の流行地域に旅行する場合は、蚊に刺されないよう十分に気をつけるべきである。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【最新トピックス-2】地球温暖化と異常現象

フロンガスによるオゾン層の破壊などにより地球の温暖化が年々顕著になり、砂漠化、森林破壊、異常気象の出現、海面上昇、熱帯病の流行などがみられる。具体的な被害としては、熱波による循環器障害・呼吸器障害、紫外線による皮膚がん・白内障の増加、水害による溺死、蚊の異常発生によるマラリア・デング熱・黄熱・西ナイル熱の流行、病原菌増殖によるコレラ・サルモネラなどの伝染病の増加、森林火災、穀物の不作、海面上昇による飲料水の欠乏、花粉症や汚染物質の増加などがみられる。2002 年夏、ヨーロッパ大陸では森林火災や洪水が襲った。2003 年にはフランスで 8 月に 40 近い猛暑が発生し、高齢者を中心として 14,000 人が死亡した。地球の温暖化対策として京都議定書批准(米国は批准していない)により加盟国があらかじめ決められた CO2 の排出量を減らすことになっているが、今後の実施状況の推移を監視すべきである。

(獨協医科大学越谷病院臨床検査部教授 森 三樹雄)

===== JACLaP WIRE =====

【MTJ (The Medical & Test Journal) 10月1日号から】

#### 徳島大学病院 / 診療支援部長に永峰検査部技師長

10月から医学部附属病院と歯学部附属病院の統合を契機に診療支援部を設置した徳島大学病院は、臨床検査部の永峰康孝技師長を診療支援部の初代部長に抜擢した。同院の初代専任病院長に就任した香川征院長は、本紙の取材に対し、「診療支援部長は、これまでの経験、能力を考慮して決めたもの。診療支援部の医療技術職員の意見集約を行い、経営層にフィードバックしてくれるよう期待している」と述べた。

#### 厚生省・検討会 健診事業の一本化に向け検討に着手

厚生労働省は9月22日に開いた「健康診査の実施等に関する指針検討会」(座長=久道茂・宮城県病院事業管理者)の初会合で、健康増進法の第9条に定められている「健診指針の策定」にあたっての主な論点案と、ワーキンググループにあたる厚生科学研究特別研究事業「健康診査等指針の策定に関する調査研究班」がまとめた研究報告書を試案として示した。

#### 江東微研 東北大学医学部に寄付講座開設

東北大学医学部の初めての寄付講座「東北大学大学院医学系研究科・先端再生生命科学(江東微生物研究所)」(岡本宏教授)がこのほどスタートした。岡本教授研究グループは、1988年にインスリン分泌細胞の再生増殖に関わっている再生遺伝子Reg (Regenerating gene)を発見。寄付講座では、これまで岡本教授が進めてきた

(1)インスリン産生細胞の死のメカニズムの解明(2)インスリン産生細胞の新しいインスリン分泌機構の解明(3)インスリン産生細胞の再生機構と再生遺伝子Regの発見 - などの研究実績を踏まえ、Reg遺伝子による糖尿病などの遺伝子検査や新薬などの開発を進め、新たな糖尿病医療の構築を目指すとしている。

#### 東芝 診療所向け電子カルテを商品化

東芝はこのほど、電子カルテシステムに医事会計ソフトを一体化して搭載することにより、診療所内の受付・診察から医事会計までの業務を、ひとつのシステムで行うことができる医事会計一体型電子カルテシステム「トスメックドクターコアプラス」を商品化、発売した。

## 第一臨床検査センター ISO9001：2000 の認証を取得

第一臨床検査センター（荒井元義代表取締役会長）はこのほど、ISO9001：2000 の認証を取得した。登録範囲は、「臨床検査に関する分析データの提供および付帯業務」。審査登録機関はベリジョンソンレジストラ。道内の検査センターでISO9001：2000 の取得は初。

## 日本BD RSウイルスの迅速検査キット発売

日本ベクトン・ディッキンソン（日本BD）は、9月25日からRSウイルスの迅速検査キット「ディレクティジェンEZ RSV」（写真）を発売する。新製品はRSウイルスと特異的に反応するモノクローナル抗体を用いたイムノクロマト法によるRSウイルス抗原試薬。すでに同社ではEIAを用いたRSウイルス抗原検出試薬を発売しているが、イムノクロマト法によるRSウイルス抗原検出試薬は国内で初めて。

## 厚生省会議 都道府県単位の「院内感染地域支援NW」を提言

厚生労働省の院内感染対策有識者会議（座長＝小林寛伊・東日本電信電話株式会社関東病院名誉院長）は9月18日、医療機関、自治体、国、関係団体、学会がそれぞれ取り組むべき院内感染対策のグランドデザインを示した報告書をまとめた。報告書では、院内感染を予防するため、都道府県を単位とした「院内感染地域支援ネットワーク」（仮称）の整備を提言した。同ネットワークは、医療機関の専門家や地域関係団体で構成し、院内感染に関する事例の収集や医療機関への院内感染対策の支援を行うもの。

## 【MTJ（The Medical & Test Journal）10月11日号から】

### 東京医大病院中央検査部 紹介患者の受入は外来検査収益をアップ

特定機能病院の外来患者1人当りの平均検査料単価は、紹介患者グループで最も高く、併科受診（新科）、非紹介患者と続き、特定機能病院における紹介患者の受入は外来検査収益をアップさせるツールとして有効であることが、東京医科大学病院中央検査部（福武勝幸部長）の上道文昭技師長らの検討によって明らかになった。上道技師長は、紹介患者を含めた外来患者に対して迅速な検査体制を整備することで、紹介医療機関へのフィードバックを円滑に進めていくことが、高度医療機関の機能充実につながるとの考えを示した。

## 岡山大学病院 「医療技術部」部長に岡田検査部技師長就任

岡山大学病院の医療技術部が 10 月からスタートし、初代部長に中央検査部の岡田健技師長が就任した。医療技術部は、看護部、薬剤部、栄養部を除く医療技術職員が結集した 100 人弱の組織になる。それを今年 4 月に検査部技師長に就任したばかりの岡田氏が抜擢された。岡田新部長は、本紙に対し「医療技術部は、各職種の専門性を活かしながら各職種の横のつながりを組織体系的に構築していこうというものだ。一歩ずつ進めていきたい」と述べた。

## 日臨技・次期会長選挙 小崎副会長と村瀬副会長の一騎打ちか

日本臨床衛生検査技師会は、10 月から次期（平成 16～17 年度）会長立候補届出の受けを開始した。現職の岩田進会長の勇退表明を受け、小崎繁昭副会長（埼玉県・越谷市立病院）と村瀬光春副会長（愛媛県・愛媛大学病院）の一騎打ちになりそうだ。両氏は、本紙に対し次期会長選への出馬の意向を示している。小崎副会長の地盤である関東甲信地区臨床衛生検査技師会は、すでに会長候補に小崎副会長の推薦を決定しており、来年 1 月の投票にむけ選挙活動を展開していく方針だ。

## 日臨技 次回診療報酬改定にむけ要望書を提出

次回診療報酬改定にむけ日本臨床衛生検査技師会は、10 月 6 日までに臨床検査点数新設項目の設定および点数改善に関する要望を厚生労働省、日本医師会など関係機関に提出したことを明らかにした。新設要望項目は、指導管理料として自己血糖測定指導加算や自己血管理加算、輸血管理加算の 3 項目をはじめ、検体検査判断料として臨床検査管理加算、微生物学検査からレジオネラ属菌検査、ベータラクタマーゼ試験など 20 項目にわたっている。

## 認定検査技師機構理事長に岩田日臨技会長が就任

認定検査技師機構はこのほど、初代理事長に日本臨床衛生検査技師会の岩田進会長を選出した。認定検査技師機構は、専門特化型で進む現在の認定検査技師制度において、一定の規範で認定制度を整備していくことを目的に昨年 8 月設立された。日本臨床検査医学会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床病理同学院と認定検査技師制度にかかわる専門学会で構成されている。

## 厚生省 インフルエンザV抗原検出試薬の使用上注意改訂を指示

厚生労働省医薬食品局審査管理課・安全対策課は 10 月 6 日付の課長連名通知で、インフルエンザウイルス抗原検出試薬の使用上注意の改訂を日本製薬団体連合会を通じて関係企業に指示した。通知を受けた企業は、10 月 20 日までに「使用上の注意事項等変更届」、31 日までに改訂した添付文書を提出する必要がある。

## 古川俊治弁護士 輸血による医療事故死、全て所轄の警察に届出を

輸血に関する医療事故が多発するなかで慶応大学医学部外科・TMI 総合法律事務所の古川俊治氏は、不適合輸血による医療事故で患者が死亡した際には所轄の警察に届出を行い、司法解剖に回すことが妥当との見解を示した。とくに全ての外科系医師はクロスマッチの手技を確認しておくことが必要だと指摘した。

## S R L 臨床検査情報マネジメントシステムの第 3 者認証を取得

エスアールエルは、臨床検査データの情報セキュリティに関するマネジメントシステムを強化していたが、英国規格の「BS 7799」と「ISMS 適合性評価制度」の認証を、英国の認定機関UKASから同時に取得したと 10 月 2 日発表した。同社では、これによって情報セキュリティの高度な社内体制を構築することができたとしている。

【MTJ (The Medical & Test Journal) 10 月 21 日号から】

## 岩手医大中央検査部 「開検(ひらけん)」構想の改革に着手

岩手医科大学病院中央検査部(諏訪部章部長・臨床検査医学講座教授)は、「患者に開かれた検査室(ひらけん)」構想のもと大きな変革を進めていることが、10 月 10 日、盛岡市で開かれた第 42 回全国自治体病院学会・臨床検査分科会(川村修分科会長・岩手県立病院検査部技師長)で明らかになった。「開検(ひらけん)」構想は、医療変革の中で検査部が果たす新しい役割を担っていこうというもので、多忙な医療現場の実態を踏まえ患者が医師になかなか聞けない検査に関することを、検査技師が一定の役割を請け負い、検査目的などを患者に十分な説明を提供できれば患者の診療に対する満足度を高めることができるのではないかという考え方。

=====

JACLaP WIRE, No.64 (2003年11月10日発刊)

発行：日本臨床検査専門医会 [ 情報・出版委員会 ]

編集：JACLaP WIRE 編集室 編集主幹：満田年宏

記事・購読(配信)・広告等に関するお問い合わせ先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学医学部臨床検査部医局内

E-mail : jaclap\_wire@yahoo.co.jp

TEL:045-787-2721 FAX:045-786-0392

日本臨床検査専門医会ホームページ：<http://www.jaclap.org/>

JACLaP WIRE バックナンバー：<http://www.jaclap.org/wire/index.html#TOP>

\*\*\*\*\*

会員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

\*\*\*\*\*

メーリングリスト配信先の変更には

1.氏名, 2.現行登録アドレスと 3.変更希望メールアドレスを添え

てjaclap\_wire@yahoo.co.jpまで「配信先の変更希望」としてお送り下さい。

\*\*\*\*\*